

編集後記

プルーストとヴェルヌという、フランス文学においていささか相容れない傾向を持つ2人の小説家に共通するものは何かと考えたとき、それは「はじまりのはじまり」という効果に対する感性ではないか、と思ったところから本号の特集テーマは「はじまって」いる。ジル・ドゥルーズによれば、無意志的記憶と連作が機能し始めるためには2番目となる何かが必要であり、その到来とともに、1番目でも2番目でもない、両者の間に効果として出現する横断線が感知されるようになるからだ。それにももちろん、2021年はコロナ禍に突入して2年目ということもあり、未曾有の経験を「はじまりのはじまり」という反復と捉え、屈折がありつつも希望的展望の下に笑い飛ばしたいという思いもあった。

そうした反復による軽やかな笑いの装置として、6篇の論考とエッセイが本号には寄せられている。内面性というドイツ的なものの負の烙印の「はじまり」とは別の、翻訳思想における異質なものの志向の「はじまり」。日本戦後文学における絶対的な「はじまり」の不可能性を、川端による二重化された「はじまり」からの系譜として素描する試み。アフロブラジル作家が小説の形で語り「はじめる」、人種問題をめぐる歴史的な複数の「はじまり」。ベンガル詩は押韻とともに「はじまる」が、無韻詩のもたらした緊張関係を「はじまりのはじまり」として新たな本質として生きていること。イタリア未来派として「はじまった」芸術家が、その理想形であるべきニューヨークで単純な近代主義とは異なる「はじまり」を都市の身体に見出すこと。いずれの論考も、国民国家と国語、そしてモダニズムをめぐりものとなっており、複数の「はじまり」が織りなす「はじまりのはじまり」の競演を、ぜひお楽しみ頂ければ幸いである。

本号は、前号から「はじまった」書式の変更と全論文の査読制という点でも「はじまりのはじまり」であるが、大変お忙しい中ご原稿をお寄せ頂いた学内外の先生方、査読をご快諾下さった皆様には、深く感謝申し上げます。また、所長の沼野恭子先生と幹事の先生方、そして実際の編集作業に携わって下さったスタッフのみなさんにも心から感謝の意を捧げたい。

ワクチン接種も3回目「はじまった」現在、事態はすでに「はじまりのはじまり」から筒井康隆的な「はじまりのはじまりのはじまり」的状况へと移行しているようにも見える。いずれにしても、反復に偏執(編集?)するのはこのあたりにして、あとはパット・メセニーの《So May It Secretly Begin》に耳を澄ませ、ひそやかな「はじまり」に身を委ねることにしよう。

(荒原邦博)



投稿規定

1. 『総合文化研究』は、東京外国語大学総合文化研究所の研究活動の成果ならびに所員の研究成果の発表のために、同研究所の責任において編集・刊行される。なお、本誌掲載の論文等に関しては著者が著作権を有するが、著作権法で規定する複製権及び公衆送信権については、著者は国立大学法人東京外国語大学にその使用を許諾するものとし、本誌掲載論文等は同大学によって電子化・公開される。
2. 『総合文化研究』は原則として年度ごとに1号を発行する。同研究所は同誌発行のために編集委員会を置く。
3. 投稿は、同研究所の所員ならびに同研究所の研究活動に寄与した者が執筆した、未発表の論稿に限る。
4. 編集委員会は、必要に応じて外部の者に寄稿を求めることができる。
5. 内容区分は「特集論文」「自由論文」「随想・創作」「書評」「報告」とする。
「特集論文」: 特集テーマに沿った、執筆者自身による未発表の研究論文（10,000-20,000字程度、英文要旨、キーワード）。
「自由論文」: 特集テーマ以外の、執筆者自身による未発表の研究論文（10,000-20,000字程度、英文要旨、キーワード）。
「随想・創作」: 執筆者自身による紀行文、エッセイ、詩や小説等（20,000字以内）。
「書評」: 書評・新刊紹介等（8,000字程度）。
「報告」: 同研究所で開催した講演会・シンポジウム等の報告（1,200-2,500字程度）。
6. 上記5つのカテゴリーのうち「特集論文」および「自由論文」は査読制とする。査読者による査読を経て、最終的に編集委員会が掲載の可否について決定する。
7. 原稿は、横書きで脚注とし、参考文献は本文の後に付すこと。なお、使用言語は特に制限しない。ただし、印刷の都合上、言語によっては、写真製版用完全原稿を要求することがある。
8. 写真・図表等は完全原稿とし、希望の大きさと挿入箇所を指定すること。
9. 投稿原稿は、返却しない。

Trans-Cultural Studies, Vol. 25
総合文化研究 第25号

2022年2月22日発行

責任編集 荒原邦博

編集スタッフ 安島里奈 井伊裕子
奥村文音 加藤慧
金雪梅 新谷和輝

発行 東京外国語大学 総合文化研究所
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
電話 042-330-5409
Fax 042-330-5410
Web <http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ics/>
e-mail tufs.ics@gmail.com